

## ・自家用有償旅客運送について

一般社団法人 地域公共交通鯖江  
2025年12月25日

# 説明項目

---

- 1.導入の目的
- 2.導入の経緯
- 3.利用のしくみ
- 4.役割分担（ドライバー、オペレーター、タクシー会社）
- 5.会員数、運行ルール(時間帯、料金の変更の経過含む)
- 6.利用実績
- 7.広報活動の履歴
- 8.事業全体を通しての事業者としての所見

# 1.導入の目的

平成31年4月現在人口約4,100人、高齢化率37.9%の河和田地区は、鯖江中心部から約10km離れており、公共交通利用による中心部へのアクセスはもとより、日常生活を支える地区内の移動も不便な状況にあります。(次頁参照)

現在、鯖江市にはコミュニティバス「つつじバス」が運行されているが、運行本数も限られていることから地区住民の移動のニーズに十分に応えきれていない状況にあります。

その上、タクシーも地区内に存在せず、タクシー空白地となっている。

もとより、需要密度が高くない地区では、コミュニティバスのみで地区住民の移動ニーズに応えていくことは、採算面からも効率的とは言えず、新たな移動サービスを提供することが求められていると考えました。

こうした課題に応えるために、自家用有償旅客運送の仕組みを適用し、有償ボランティアによる自家用車を移動資源として活用する新たな移動サービスの導入を試みることとしました。

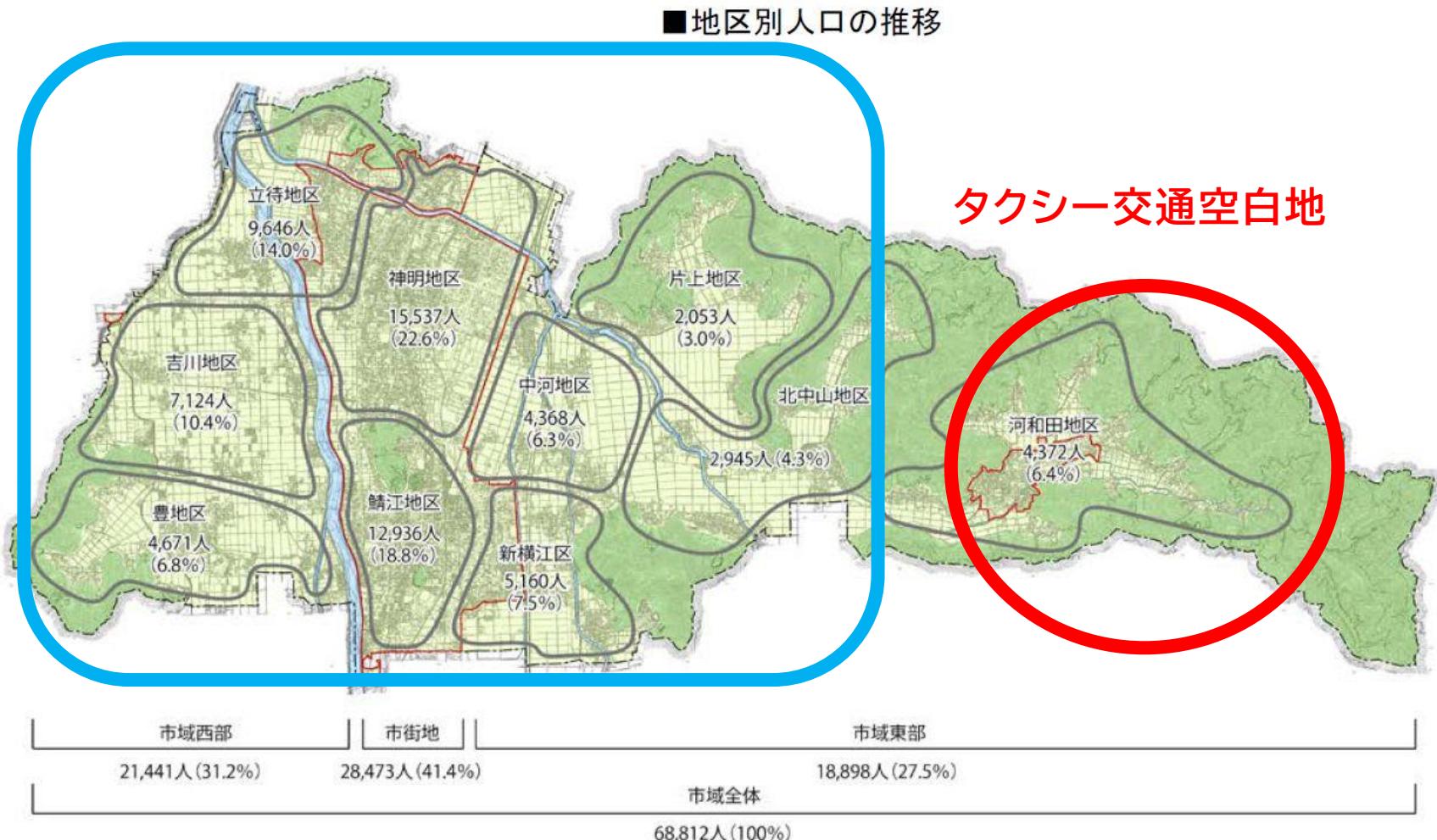
## [既存公共交通を利用する状況]

- ・急がない遠方への移動(つつじバス)
- ・できる限り安価での移動(つつじバス)
- ・緊急事態の移動(タクシー)

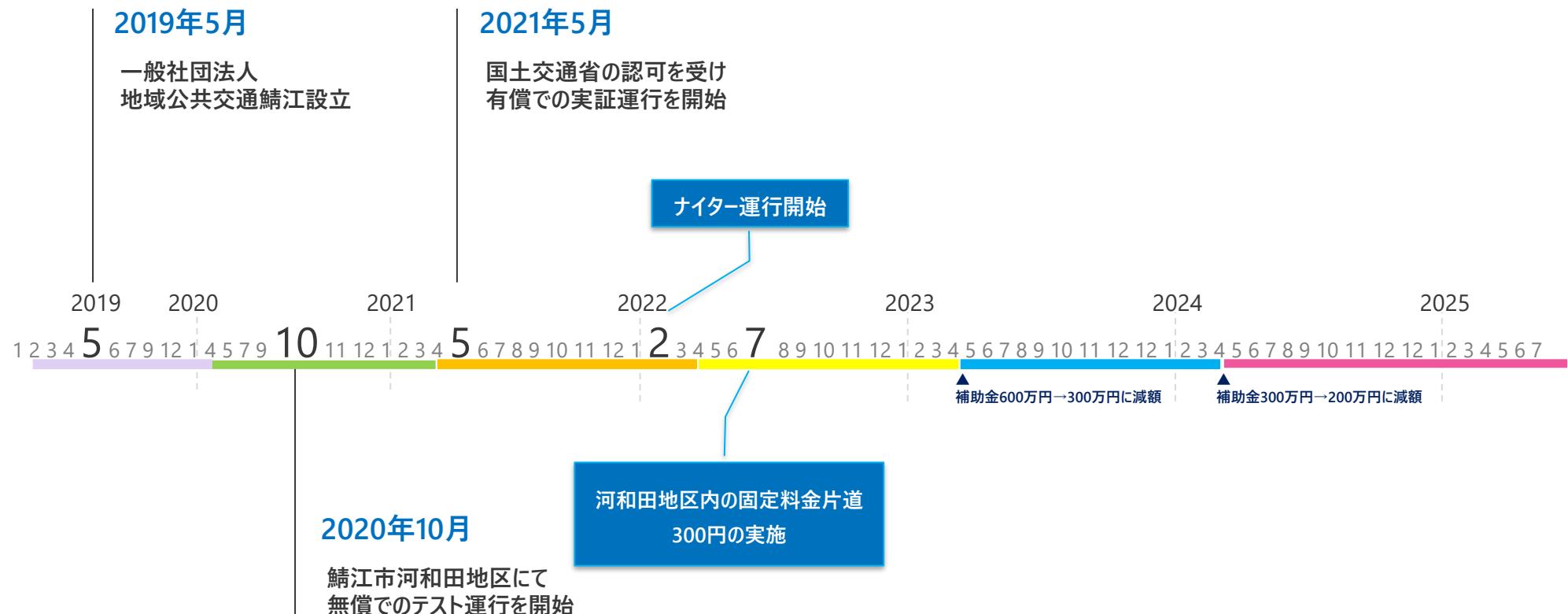
## [自家用有償運送を利用する状況]

- ・時間的なゆとりがある時の移動
- ・Door to Door が必要だけどコストを抑えたい方(足が悪い・買い物で荷物が多い等)

# 1.導入の目的 鮎江市と河和田地区の位置関係



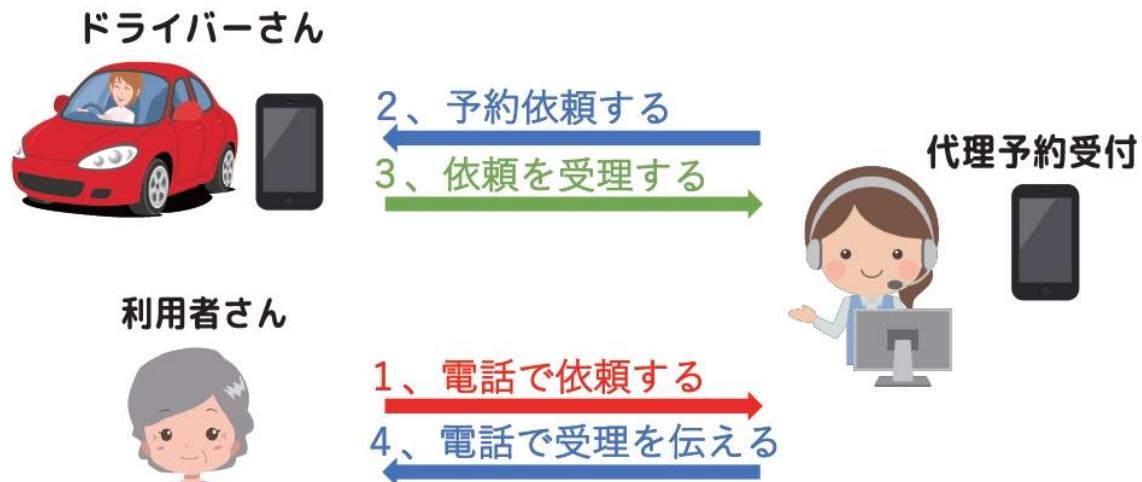
## 2.導入の経緯



### 3.利用の仕組み

#### 利用の流れ

#### 【ちょいボラ交通 利用の流れ】



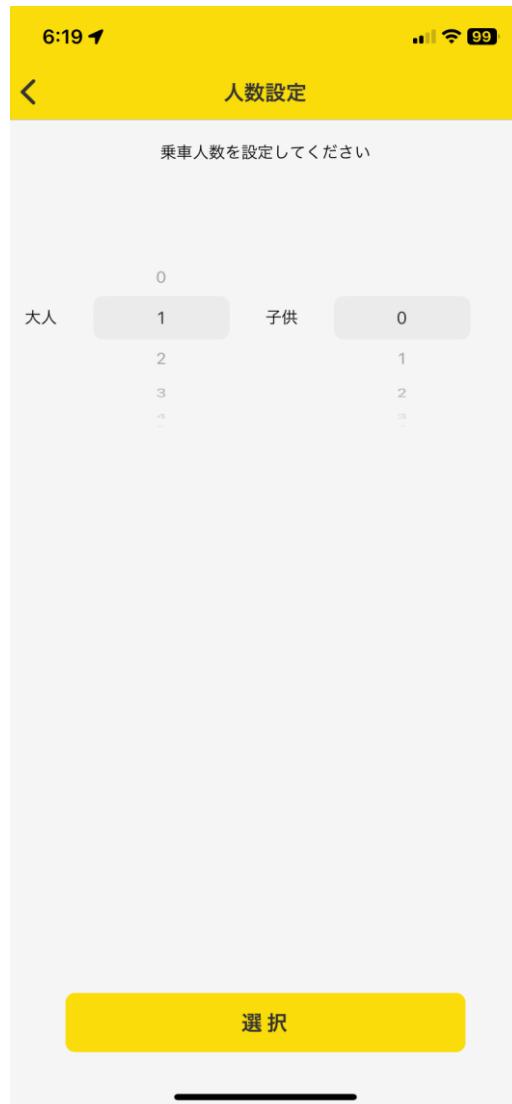
## アプリケーションのイメージ 1/3



## アプリケーションのイメージ 2/3



# アプリケーションのイメージ 3/3



## 4.役割分担（ドライバー、オペレーター、タクシー会社）

	役割
ドライバー	<p>「2種運転免許保有」又は「1種運転免許保有 + 自家用有償旅客運送の種類に応じた大臣認定 講習の受講済みのドライバーを中部運輸局福井運輸支局長宛に登録申請済の者を指します。</p> <p>2025年12月25日時点で4名(4台)の登録があります。</p> <p>実働としては現在、2名(2台)で稼働しています。</p> <p>オペレーターから依頼があった旅客運送を行います。</p>
オペレーター	<p>アプリでの予約をする事が難しい利用者に対して希望する運送日時・送迎場所等をヒアリングし、その希望に添ったドライバーをアテンドすることが役割。</p> <p>ドライバーや利用者から要望を聞き出し、それを事業者に伝える等も役割に入ります。</p>
タクシー会社	旅客運送の専門家として安全管理についてアドバイスを行い、運行管理者として安全な運行が実施されるようにすることが役割です。

# 5.会員数、運行ルール(時間帯、料金の変更の経過含む)

## ・会員数

	経緯
250名 (2025年12月9日現在)	2022年7月1日の料金改定以降、大幅増加したが利用回数に反映はされておりません。

## ・運行時間

	経緯
8:30~21:30	2022年2月1日から運行時間を9:00~17:00→8:30~21:30に延長 時間延長による利用はあまりありません。

## ・料金

サービス開始当初	現在
初乗り:1,178mまで348円+261m毎に54円が加算 (例) 2.5km利用したとすると、348円+(2,500-1,178)/261[繰り上げ]*54=672円	初乗り:1,100mまで300円+250m毎に50円が加算 (例) 2.5km利用したとすると、300円+(2,500-1,100)/250[繰り上げ]*50=600円 河和田エリア内発着の場合は片道300円
2022年7月1日より河和田地区民からの要望を受け、河和田エリア内の移動は片道300円固定を導入 タクシー料金の値上げ、自家用有償旅客運送の制限緩和はありましたが値上げは実施しておりません	

## ・運行エリア

運行範囲	詳細
鯖江市内	但し、出発地・到着地は河和田であること

# 6.利用実績

	R3.5-R4.3	R4.4-R5.3	R5.4-R6.3	R6.4-R7.3	R7.4-R7.11	合計
	202105-202203	202204-202303	202304-202403	202404-202503	202504-202511	
総利用回数 (回)	230	342	682	841	548	2,643
河和田区内利用 (回)	91	225	485	716	485	2,002
→河和田区内利用率 (%)	40%	66%	71%	85%	89%	70%
単価 (円)	1,481	655	515	455	389	699
移動目的 (通院・ワクチン接収) (回)	181	154	240	175	94	844
移動目的 (それ以外) (回)	49	188	442	666	454	1,799
利用人数 (人)	19	34	45	44	48	-
利用料金合計 (円)	340,657	223,884	351,300	382,550	333,200	1,631,591
助成金	6,000,000	6,000,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	19,000,000
運営支出額 (円)	7,082,795	6,296,182	3,673,368	2,614,924	2,409,550	20,631,591
収支	-742,138	-72,298	-322,068	-232,374	-76,350	-1,445,228
利用登録者数 (年度末時点) (人)	43	194	213	240	250	-
ドライバー数	6	6	6	4	4	-

…概算

## 売上げ

4月～11月 合計 213,200  
12月～3月見込み 合計 120,000

333,200

## ドライバー報酬

4月～11月 合計 130,850  
12月～3月見込み合計 72,000

202,850



## 8.事業全体を通しての事業者としての所見

令和3年5月6日から鯖江市河和田地区を発着点とした鯖江市内で自家用有償旅客運送の運行開始をして、法令遵守の上、安全運行の徹底や利用者ニーズの吸い上げ等、多くの課題をひとつずつクリアしながら現在に至ります。ちょいボラ交通が担っている役割として「生活圏での移動手段となり、利用者の生活満足度を高め、社会的な課題を解決する」を体現するために、一番多くの要望があった利用料金について2022年7月に改定しました。さらに、「ちょいボラ交通」についての周知を進めるために、ポスターの設置や市民活動に出席して利用案内等、地道な周知活動を行ってきた結果、利用登録者は250名となっております。

運行に対する準備、申請、無償運行開始から約5年間、地域の足になるために努力を続けてまいりましたが、事業として自立運営ができるだけの収支バランスを確保することが難しい状況が続いております。これまで自治体からの補助金を活用しながら運営を行ってまいりましたが、それでも赤字が続き、現状のままでは持続的な運行が難しいという状況です。地域の皆さんに支えられながらここまで運営を続けてこられたことに、心より感謝申し上げます。

しかしながら、厳しい経営状況を鑑み、誠に残念ではありますが現状が打開できなければ「ちょいボラ交通」の運行を終了させて頂くという判断をせざるを得ません。長年にわたりご利用いただいた皆さん、またご支援いただいた関係者の皆さんに、改めて厚く御礼申し上げます。地域の移動手段としての役割を担ってきた本事業を終了することは非常に心苦しい決断ではありますが、どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。